

都中英研だより

第74号

東京都中学校英語教育研究会
会長 刀根 武史
(武蔵野市立第五中学校)

新しい日常を意識して 今、できることを進めます

東京都中学校英語教育研究会

会長 刀根 武史



令和2年度東京都中学校英語教育研究会（以下、都中英研とする。）会長を拝命いたしました武蔵野市立第五中学校長の刀根武史です。昨年の11月に開催されました「第43回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会東京大会」には多くの皆様にお集まりいただき有難うございました。また、会の準備・運営にも多くの会員の皆様に関わっていただき、深く感謝申し上げます。御参加をいただきました皆様から学びの多い素晴らしい大会であったとお声をたくさんお寄せいただき、役員、事務局一同大変うれしく思いました。この場をお借りして、改めて皆様に御礼申し上げます。この大会の経験を活かし、都中英研のさらなる充実・発展のために今後とも努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本年度の本会の活動ですが、新型コロナウイルス感染症への対応で例年通りの活動がなかなかできない状況にあります。しかし、感染の状況を見ながら、できる限りの様々な感染防止への工夫・取り組みを進める中で新しい日常を意識しながら本会の活動を模索してまいります。これまでのところ、本年度は5月の定期総会は文書開催、夏季休業中の都中英研各部主催の研修会は開催を自粛、12月の英語学芸大会はビデオ審査方式での開催に変更いたしました。特に、英語学芸大会は参加種目をこれまでのSpeakingの部とPlayの部に加えて、本年度はPerformanceの部を新設いたしました。生徒の英語によるパフォーマンスを高めることにもつながると考えております。多くの学校の皆様からの御参加を期待しております。詳細に

つきましては本会のホームページで御確認ください。

(<http://chueiken-tokyo.org/>)

都中英研は東京都教育委員会研究推進団体の認定を受けた研究会です。会の目的は、中学校英語教育に関する事項を研究し、会員の識見の向上に努めると共に英語教育の振興を図ることとしています。特に、本会はこの目的を達成するために、次の5つの事業を行っています。

- ① 各種研修会の開催
(研修会、発表会、講演会等)
- ② 調査活動
(コミュニケーションテストの作成とその分析、調査活動等)
- ③ 研究活動
(英語教育に関わる基礎的かつ実践的な課題等)
- ④ 各種英語教育団体との連絡
- ⑤ 機関誌発行、本会の目的達成に必要な事業

都中英研では皆様に会報やホームページ等を通して様々な情報の発信に努め、引き続き皆様のお役に立てるような活動を積極的に進めてまいります。そして、教育改革の先陣を切れるよう、日々研鑽を積み、前進していく所存です。関係の皆様のお理解と御協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が終息し、生徒が何の制限もなく、先生の後について大きな声で英語を口にしたり、会話をしたりできる日が一日も早く戻ってきますことを強く願っております。それまで、今できることを私たち一人一人がしっかりと進めてまいります。

簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

中学校における「話すこと」の指導の充実に向けて

東京都教育庁指導部国際教育推進担当課長 西貝 裕武

1. はじめに

東京都教育委員会では、平成30年2月に策定した「東京グローバル人材育成計画'20」において、「使える英語力の育成」を柱の一つに掲げ、小・中・高で一貫した英語教育の充実に取り組んでいる。（図参照）
今回は、中学校における「話すこと」の能力を育成するための取組の一部を紹介する。

東京都における小・中・高一貫した英語教育のイメージ

	小学校		中学校	高校入試	高等学校
	2技能	4技能	4技能	4技能	4技能
東京都教育委員会 生徒の英語力目標	英検3級程度（CEFR A1に相当）の英語力を有する中学生（卒業時）の割合60%			英検準2級程度（CEFR A2に相当）の英語力を有する高校生（卒業時）の割合60%	
英語の指導の充実 ■「使える英語力」の育成 ■豊かな国際感覚の醸成 ■日本人としての自覚と誇りの涵養	<ul style="list-style-type: none"> 英語教育推進地域事業・英語教育推進リーダーの配置（平成28・29年度） 「小学校第3・4学年外国語活動指導資料」（指導資料冊子・DVD・ピクチャーカード）の配布（平成29年度） 小学校英語専科教員連絡協議会（平成30年度～） 小学校英語専科教員配置校訪問（平成30年度～） 「小学校第5・6学年外国語指導資料DVD」の配布（令和元年度） 	<ul style="list-style-type: none"> 「中学校英語科教師のための指導資料」（平成27年度） 中学校英語教育推進モデル地区事業（平成29・30年度） 「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための研修」の実施（平成29・30年度、令和元年度）及び指導資料DVDの配布（平成29年度） 「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための指導資料」（令和元年度） 「中学校英語「話すこと」に関する能力育成のための映像資料・指導資料」（令和元年度） 「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための授業力向上セミナー」の実施（令和2年度） 「東京方式 少人数・習熟度別指導ガイドライン（改訂版）《中学校英語》」（令和2年度） 	入学者選抜 英語学力検査 （3技能） Reading Listening Writing + Speaking 中学校英語 スピーキング テストの結果活用	<ul style="list-style-type: none"> 「都立高校学力スタンダード」の設定 ネイティブ・スピーカーの活用（JET-ALT、Non-JET ALTの配置） オンライン英会話学習の実施 Readingイングリッシュ・エンパワーメント・プロジェクト（TEEP）の実施 多言語学習の充実 <留学等関連> <ul style="list-style-type: none"> 次世代リーダー育成道場の実施 東京体験スクールの実施 海外大学等進学支援事業の実施 都立国際高校における国際バカロレアの取組 <指定校関連> <ul style="list-style-type: none"> Diverse Link Tokyo Edu(WWL コンソーシアム構築支援事業）（令和元年度～） 東京グローバル10（平成27年度～） 英語教育推進校（平成28年度～） 海外学校間交流校（平成29年度～） 	
国際交流（国際交流コンシェルジュ）					
Welcome to Tokyo Beginner		Welcome to Tokyo Elementary		Welcome to Tokyo Basic	
東京都英語村 「TOKYO GLOBAL GATEWAY」					
指導力・英語力向上研修					
外部検定試験					
教員の海外派遣研修					
中学校英語免許状の取得促進					

*詳細は東京都 HP「グローバル人材の育成」を参照 <https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/global.html>

2. 「話すこと」の能力育成に向けた取組

(1) 授業における「話すこと」の指導の充実（義務教育指導課・指導企画課国際教育推進担当）

新中学校学習指導要領外国語科では、言語活動（実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う活動）を通じた資質・能力の育成が求められていることを踏まえ、以下の取組を行っている。

① 「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための指導資料」の作成・配布（令和元年度）

- 言語活動や単元構成、対話的な言語活動につながる様々な活動の指導例（Q&A活動、チャット活動、オーラル・イントロダクション等）を紹介している。また、各種ワークシート、学習指導案の書式例等を、付属のCD-Rに編集可能な形式で収録している。（詳細は、本指導資料のP72,73を参照）
- 付属のCD-Rには、指導改善に役立つ資料として、「中学校英語科教師のための指導資料」（平成28年3月）や「中学校英語教育推進モデル地区事業報告書」（平成31年2月）等を収録している。

② 「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための授業力向上セミナー」の実施（令和2年度）

- 平成29年度から令和元年度までの3年間で実施した「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための研修」の流れを汲み、事前に撮影した授業映像の視聴を含むセミナーを実施している。
- セミナーは複数回の実施を予定しており、上記①の指導資料の内容及び学習指導案の書式例を活用しながら、「単元構成とパフォーマンス評価」「言語活動を中心とした授業展開」「既習事項を活用させながら即興性を育む指導」などをテーマとしている。

③ 「中学校英語「話すこと」に関する能力育成のための映像資料・指導資料」の配布（令和元年度）

- 生徒の興味・関心に合った題材を用いて、実際のコミュニケーションや授業で行う言語活動のモデルを紹介している。映像により、生徒は言語活動を実際のコミュニケーションとして捉え、言語活動に対するゴールをイメージすることができる。また、生徒が「質問に答える」、「自分の意見や考えを述べる」等、「話すこと」の練習ができる「話すことトレーニング」も収録している。

(2) 中学校英語スピーキングテストの実施（指導企画課国際教育推進担当）

小・中学校の「話すこと」の学習成果を測るため、令和4年度から都内公立中学校第3学年全生徒を対象に、「中学校英語スピーキングテスト」を実施する。テスト結果は、令和5年度都立高校入試から活用する予定であるが、各地区・学校で指導の改善・充実を図るために活用いただくことを本来の大きなねらいとしている。例として、次の3点を想定している。

- ・テストの結果を踏まえた、各校の指導目標や指導計画の改善・充実
- ・公表されるテスト問題や採点基準を踏まえた、言語活動やパフォーマンステストの改善・充実
- ・地区の研修会や校内の教科部会での、指導やパフォーマンステスト等の好事例の共有

今後、テスト動画や結果をまとめた実施報告書を公表する予定である。結果を経年比較することで、PDCA サイクルに基づいた授業改善の取組の一層の充実を期待している。

(3) オンデマンド教材“TokyoGlobalStudio”の公開（指導企画課国際教育事業担当）

国際教育事業担当では、東京都英語村 TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) の施設、外国人スタッフ、ノウハウを活用し作成した英語教材“TokyoGlobalStudio”をウェブ上で公開する。本教材では小・中・高の児童・生徒向けの映像教材とワークシートを組み合わせ、コンテンツ化し、学校での授業やオンライン授業、予習・復習も含めた家庭学習等で活用が図れるようにしていく。

中学校向けコンテンツでは、中学校において習う主な文法項目を網羅した全40本のリリースを予定しており、TGGの外国人スタッフによるターゲット文法の使用場面を伝えるドラマ、ワークシートを使用した学習内容の定着の他、映像の後半は、音読する・質問に答えるなど、中学校英語スピーキングテストも意識した内容となっている。

また、同サイトには教師用指導資料として、児童・生徒の発話を引き出す方法や、TGGのプログラムに取り入れているCLILを解説した動画資料、テキスト冊子等も掲載予定である。

ホームページ <https://www.tgs.metro.tokyo.lg.jp/> ※10月下旬以降より順次リリース予定

3. おわりに

小学校では、教科としての外国語が高学年に、外国語活動が中学年に導入された。small talkで1分間程度、笑顔で英語を話す小学生の姿を目にする。とても嬉しくなる。小学校で育まれた力を中学校で着実に伸ばし、高校へとバトンタッチし、小・中・高で一貫した英語教育を充実させたい。中学校の力が試される時である。

令和2年度・第73回英語学芸大会についてのご案内

東京都中学校英語学芸大会は例年12月初旬の日曜日、都内会場をお借りして実施されています。各地区予選を通過したSpeaking及びPlayの代表が一堂に会し、多くの観覧者もあり、400～500名が集まる規模の大会となっています。今年度は新型コロナウイルスへの感染防止の観点から、ビデオ審査方式で実施します。

本大会のホームページからエントリーができます。物理的な距離はもはや関係ありません。

また各地区からの推薦は不要で、全ての中学校から直接申し込むことができます。

さらに、今回Performanceの部を新設しました。東京都全ての中学校からのエントリーを中英研一同、心よりお待ちしております。

記

1 開催期間

(1) 応募期間 令和2年10月20日～11月20日

(2) 審査発表 令和2年12月25日（予定）

2 令和2年度・第73回英語学芸大会公式ホームページ

<https://sites.google.com/eigogakugeitaikai2020.com/chueiken-jigyobu>

※正しく動作させるため、ブラウザはGoogle やGoogle Chrome をお使いください。

3 開催方式

ビデオ審査方式（動画データを公式ホームページ上のGoogle Formにて提出いただきます）

4 目的

(1) 英語によるスピーキング、プレイやパフォーマンスを通して、日頃の学習の成果を発表することで、互いに楽しく、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。

(2) 帰国生徒においても海外で身につけた語学力や体験を発表して、一層自らの向上に努めるとともに、皆と協力して国際理解、国際親善、国際貢献の推進に貢献する。

5 主催 東京都中学校英語教育研究会（担当 事業部）

6 部門

(1) Speakingの部 【制限時間2分・ビデオ編集は不可】 帰国生徒も入賞あり

(2) Playの部 【制限時間5分・ビデオ編集は可能】

(3) Performanceの部 【制限時間2分・ビデオ編集は可能】



- ・Speakingの部、Playの部でないものは全てPerformanceの部として扱う。
- ・内容は、例えば、プレゼンテーションや朗読、英語による歌等、生徒の学習意欲を高めるもの、英語やコミュニケーション能力を高めるもの、とする。
- ・Performanceの部においては、編集は自由。但し、編集技術等は審査対象としない。

7 参加申込等

- ・各校の代表、合計3エントリーまで参加可。(但し、Playは1つのみ)
- ・参加は最大1種目1人1エントリーとする。

8 表彰

Speakingの部 1位、2位、3位を表彰(帰国生徒も同様に表彰あり)
 Playの部 1位、2位、3位を表彰する。Performanceは順位づけはしない。

9 皆様へのお願い

詳細はホームページをご覧ください。

今回は初めての試みとなるため、予定どおりの進行とならない場合も想定されます。

しかし、可能な範囲で生徒活躍の場面を設定し、英語運用能力の向上、課題に立ち向かう姿勢や、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する機会といたく、皆様のご協力とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

【担当】 東京都中学校英語教育研究会
 副会長・事業部担当
 葛飾区立亀有中学校長 平岡 栄一
 電話 03-3690-4567 ファクシミリ 03-3838-5768
 e-mail : eiichi.hiraoka@katsushika.ed.jp

情報提供コーナー

指導と評価の一体化、授業の工夫などについて、現在多くの動画が配信されています。その一部を紹介しますので、ぜひご覧ください。

文部科学省「mextchannel You Tube」

- 中学校の外国語教育はこう変わる！
- なるほど！小学校外国語 など

公益社団法人日本英語検定協会「英語情報 Web」

- 今日から使える授業のヒント
- Bridge オンライン「外国語」授業動画
- 【中学校 外国語 編】学習評価と指導について
- 山田教科調査官による動画解説
- ★先生用★外国語授業動画進め方ガイド など

お知らせ

都中英研では、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)で著名な*Facebook を利用しております。研修会等の最新のお知らせを提供できるばかりか、投稿が可能なので、利用者間相互のコミュニケーションも可能です。ご関心のある方はアカウントを取得して、下記 URL にアクセスしてみてください。

<https://www.facebook.com/chueiken.tokyo/> *Facebook はフェイスブック株式会社の登録商標です。

また、都中英研のホームページもぜひ活用ください。本誌「都中英研だより」や年報である「中英研会報」も閲覧が可能です。ホームページは下記 URL にアクセスしてください。

<http://www.chueiken-tokyo.org/>

編集後記

「都中英研だより 第74号」をお送りいたします。新型コロナウイルスの感染拡大により、3月からの臨時休業、そして新しい生活様式の中での学校再開…、と令和2年度は、これまでになく授業や指導計画について見直しを迫られる年になっています。その中で、いよいよ半年後に迫った次期学習指導要領の全面实施。感染対策を図りながら、どのように「主体的・対話的で深い学び」を実現していくのか、「言語活動」をどう充実させていくのか、評価は、と試行錯誤の毎日を送っていらっしゃると思います。

出版部では、少しでも皆様のお役に立つ情報を発信したいとの思いで今号を作成いたしました。紙面の都合上、全てをご紹介することはできませんが、参考にしていただければと思います。

ご多用の中、発行に際し、ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

本誌に関するお問い合わせ先 >>>>

都中英研出版部長 今本 由美子(立川市立立川第三中学校 校長)
 TEL: 042-523-4348 FAX: 042-529-1015